

・ 東部まつりのボランティアに参加してきました！

中野区若者フリースペースは外部との交流にも力を入れています。東部まつりという地元のお祭りがあり、10月1日にフリースペースからほど近い東部区民活動センターで開催された「みんなのひろば」にボランティアとして若者3名と参加しました。メンバーたちが素晴らしい働きをしてくれ、地域の皆さんに喜んでいただき、とても良いボランティアプログラムとなりました。参加メンバーたちのコメントを掲載しましたので、是非ご覧ください。

(スタッフ 田中亮太)



10月1日、東部区民活動センターでのイベント「みんなのひろば」に参加しました。

そのイベントは11時から14時半まで行われていました。当日は強い日差しの中、意外と風も強く心地は良かった...ようで溶ける暑さでした。

飲み物の準備は私の筋力が足らず、運ぶのに苦労しましたが、他メンバーの助けもあり準備は進めたので良かったです。中野東中学校の生徒が和太鼓を叩く情熱のオープニングセレモニーを前方で聴き、「そういえば小学校の頃、竹太鼓叩いたなあ。」と記憶がよみがえり気分が高揚！ そのあと、手持ちの

クラッカーをパンッと鳴らしクラッカーの同時合唱で始まりました。飲み物の販売は緊張しましたが、他メンバーとの協力でほうじ茶やジュースを売り切ることができたので、達成感のある良い日でした。

(メンバー Mr.K)

私は1日を通して午前、午後と2人のメンバーさんとお祭りに参加させていただきました。元々売り子さんをするのが好きだったのでとても楽しめました。しかし暑くて中々お茶が冷えなくて、お祭りのオープニングセレモニーどころでは無かったです。普段あまり話さないの売り子さんをしている時の姿を見てスタッフさんたちは驚いていました(笑)自分の声でお客さんが来てくれたことが凄く嬉しかったです。

お祭り中はとても暑かったですが、そんなことも感じないくらい集中していました。ドリンク販売はお子さんのお客さんが多くジュースが直ぐに売り切れてしまいました。お昼過ぎには完売することが出来て充実した1日になりました。またこういう機会があれば一緒に参加したメンバーさん以外のメンバーさんとも参加したいと思っています。

(メンバー 黒音)



・ 中野区立中野東図書館で絵本の魅力について感じてきました！

9月20日(火)中野区立中野東図書館にお邪魔して、「図書館で絵本の魅力を感じよう」というプログラムを行いました。小説雑談倶楽部という小説を紹介し合うプログラムを行う中で、小説だけではなく絵本という側面から本の魅力を新しく発見することが出来るのではないかとというメンバーからの発案があり、中野東図書館にご協力頂きプログラムの開催に至りました。

当日は、メンバーが各々気になった絵本を数冊選び、なぜその絵本を選んだのか、あらすじや魅力を伝え合いました。メンバーそれぞれ、選んだ絵本の違いが出て、自分では手に取らない絵本の魅力をお互いに共有することが出来たのではないかと思います。

また、児童図書担当の図書館職員さんにもご参加いただき、メンバーと質疑応答の時間も設けて下さりました。特に印象に残っていることは、図書館の仕事において、一番大切なことは「人が好きなこと」だということです。「本が好きなこと」や「本の知識」では...?とスタッフもメンバーもびっくりしましたが、様々な目的で訪れる方に合わせて、一緒に本を探していくことが大切である為、コミュニケーションが取れる方、お話しすることが好きな方が向いているとのことで、図書館でのお仕事のやりがいや大変さを教えていただいたように感じました。

今回は、絵本というジャンルから本の魅力について感じるプログラムとなりましたが、また違ったジャンルから、本の魅力の再発見をしていけたら良いなと考えています！ご協力いただいた中野区立中野東図書館の皆様、ありがとうございました！また引き続きよろしくお願ひ致します。

(スタッフ 石田正之)

・フリースペースの“いま”を紹介します！

◆テーマトーク 「情熱を抱くには？」

ヒトが抱く情熱に対する関心があったため、このprogramに参加しました。議論が進展してくると、情熱の対象や認識には個人差があるということが、分かりました。そのため、このprogramでは、情熱というものに対して多角的な考察をしました。考察が進むにつれて細かなことが次々に判明してきたので、非常に面白いprogramになりました。いわゆる、神回でした。情熱を解き明かしていく中で、このprogramに参加していたメンバーへ、質問をする機会が何度かありました。それは、自分の思考や意見を主張するというよりも、疑問を提示することで相手を理解していくことができる時間でした。そのような時間を過ごしたことで、自他共に理解し合いながらある程度の解決と次の課題に辿り着くことが叶いました。

無知から知へ、無理解から理解へ、このような一連の流れを体験することで、1つのきっかけと1つの経験に繋がりました。このprogramを終えた後、精神医学を学び始めたり将来するであろう支援に対する認識がより具体的になったりしました。改めて当時を振り返ると、1つのprogramで非常に多くの物事を獲得することができた、不思議な一時です。

(メンバー lol chaos @the_c.f.)

フリータイム中のメンバーのつぶやきが元となったプログラムでしたが、他のメンバーも高い関心を持って参加してくれて、このプログラムそのものが情熱を帯びた時間となりました！

(スタッフ 田中亮太)

◆テーマトーク 「アライグマとその仲間」

アライグマと仲間たちというプログラムで、アライグマについてお話させていただきました。アライグマはとても賢く、器用な生き物で原産地であるアメリカのみならず、日本でも特定外来生物として都市に適応しているところで見ることができます。また、舌が長く花の蜜を食べる"キンカジュ"や耳の大きく猫のような"カコミスル"といったようにアライグマ科にはアライグマ属のほかに様々な魅力的な種が属しています。

もともとなんとなく好きだったアライグマでしたが今回お話しするために色々調べた結果、アライグマに対する知識がさらに深まりよく理解できたと思います。自分が好きなものについて調べて話すというプロセスは、知識を獲得し深めるためにとても重要なことだと改めて思いました。

(メンバー ありつき)



「情熱を抱くには？」



「アライグマとその仲間」

★スタッフ紹介★ ～田中さんってどんな人？～

メンバーに尋ねてみました！

- ・合理的で話を分かってくれる人
 - ・話しやすく、自分の立場を明確にしてくれる人
 - ・多角的に考え合える人
 - ・話の引き出しを沢山持っている人
 - ・ムダなことも必要なことも話してくれる頼りがいがある人
- 等の意見があがりました！

皆さん、話しやすい・話を分かってくれるというところは共通しているように感じます！その他にも、おしゃべりが好き、可愛げがある、時におっちょこちょい、ほめると伸びるタイプ等のチャーミングな意見もありました。

メンバー・スタッフ、みんなに頼りにされている田中さん！皆さんもぜひ、直接会ってお話してみたいかがでしょうか？お待ちしております！



中野区若者フリースペース

〔所在地〕 東京都中野区中央1-41-2 中野区子ども・若者支援センター
(愛称：みらいステップなかの) 4階

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分

〔電話〕 03-5937-3664

〔開所時間〕 火曜日から土曜日(祝日、年末年始を除く) 11:30～19:00
※毎月2回、不定期で閉所日があります。

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。➔

